

新技術・情報名	水稻「黄金晴」の奨励品種採用	推進部会名	作物生産(夏作)
実施場所	三重県農業技術センター	分類	※①

1. 成果の内容

1) 技術・情報内容及び特徴

黄金晴は出穂期・成熟期にも秋晴並か3日程遅い早生種である。稈長は秋晴より6cm程短かく、稈が太いので倒伏に強い。穂数は少く、穂長が長く、1穂着粒数が多い中間型である。草姿は止葉及び上位葉がやや長く長目であるが直立し、受光態勢は良い。熟色は極めて良好である。

いもち病抵抗性は、葉いもちには秋晴より強いが、穂いもちには晴々並で秋晴よりやや弱いと思われる。穂発芽性は難である。

収量は秋晴より多収で刈り取り並で麦跡等晩植適応性も高い。千粒重は秋晴より大きく、刈り取りよりやや小さい。品質は汎用があり秋晴より良い傾向の上の中である。

2) 技術・情報の適用効果

現在中山間地を中心に秋晴が1,300ha程栽培されているが、下葉枯れや白葉枯病等による品質・収量の低下と変動の問題があり、黄金晴に置き替えることにより、収量の高位安定化が期待出来る。

刈り取りの作付が集中する地域では、刈遅れによる脂割・穂発芽の発生等の問題があり、成熟期の遅い黄金晴の導入により、品質の向上と作期幅の拡大による労力・機械施設利用の効率化が図られる。

3) 適用範囲

三重県下全域 早植栽培に適する。

4) 着目指標上の留意点

分けつが少なく、穂数の確保が難しいので、早植密植にして穂数の確保に努める。麦跡晩植栽培では中成苗の健苗を用い初期生育の確保をはかる。

穂いもちには中〜強であるが、作付率が高くなると発生し易いので、適期防除を所行する。

施肥量は刈り取り程度とし、極端な多肥栽培は増収効果がなく、いもち病の発生を助長するので避ける。

2. 具体的データ

(1) 奨励品種決定基本調査

試験場所	品種名	試験年次	移植月日	出穂月日	成熟月日	稈長cm	穂長cm	穂数本/㎡	倒伏率%	いもち病罹病率%	精玄米率%	同左比較比率%	千粒重g	品質			
															判定		
農業技術センター	黄金晴	60	5.13	8.9	9.13	78	19.7	382	0	1.5	0	1.0	50.6	107	22.3	3	◎
		61	5.13	8.14	9.18	75	18.8	380	0	0	0	0	55.4	102	22.4	4	◎
		平均	5.13	8.12	9.16	77	19.3	381	0	0.8	0	0.5	53.0	105	22.4	3.5	◎
伊賀農業センター	黄金晴	60	5.13	8.9	9.12	86	18.7	456	0	1.5	0	0.5	47.2	100	21.5	3.5	-
		61	5.13	8.13	9.17	82	17.6	471	0	0	0	0	54.2	100	21.7	4.5	-
		平均	5.13	8.11	9.15	84	18.2	464	0	0.8	0	0.3	50.7	100	21.6	4.0	-
伊賀農業センター	黄金晴	60	5.9	8.8	10.3	76	19.3	393	0	0	1.0	60.6	116	21.5	2.5	◎	
		61	5.8	8.13	9.28	76	18.8	382	0	0.5	0	0	61.0	105	21.0	3.0	◎
		平均	5.9	8.11	10.1	76	19.1	388	0	0.3	0	0.5	60.8	110	21.3	2.8	◎
伊賀農業センター	秋晴	60	5.9	8.7	9.30	82	18.7	431	1.0	0	2.0	52.1	100	20.3	3.5	-	
		61	5.8	8.12	9.26	82	17.7	453	0	0.5	0	0	58.2	100	20.0	4.0	-
		平均	5.9	8.10	9.28	82	18.2	442	0.5	0.3	0	1.0	55.2	100	20.2	3.8	-

(2) 現地調査

調査場所	品種名	年次	移植月日	出穂月日	成熟月日	稈長cm	穂長cm	穂数本/㎡	倒伏率%	いもち病罹病率%	精玄米率%	同左比較比率%	千粒重g	品質			
菟野町	黄金晴	60		8.16	9.23	84	20.3	377	0	0	0	0.5	53.6	111	-	2.0	◎
	秋晴	61	5.1	8.16	9.18	86	20.1	388	0	0	0	1.0	48.2	100	-	3.0	-
白山町	黄金晴	60		8.13	9.17	83	18.6	491	0	0	0	0	56.9	106	-	3.0	◎
	秋晴	61	5.7	8.14	9.19	89	17.4	551	0	0	0	0	53.5	100	-	3.0	-
大内山	黄金晴	60		8.13	9.21	72	17.0	345	0	0	0	2.0	47.8	115	-	3.0	◎
	秋晴	61	5.7	8.14	9.20	74	16.3	438	0	0	0	1.0	41.5	100	-	3.0	-
上野市	黄金晴	60		8.7	9.15	74	19.4	337	0	0	0	1.0	60.2	99	-	3.0	◎
	秋晴	61	5.7	8.8	9.18	78	19.0	349	0	0	0	2.0	61.1	100	-	4.0	-

(3) 麦跡晩植栽培(低コスト試験)

調査場所	品種名	年次	移植月日	出穂月日	成熟月日	稈長cm	穂長cm	穂数本/㎡	倒伏率%	いもち病罹病率%	精玄米率%	同左比較比率%	千粒重g	品質		
															判定	
農業技術センター	黄金晴	60	6.18	8.23	9.23	79	19.0	351	0	0	0	51.9	106	22.8	2.0	◎
		61	6.20	8.26	10.3	81	20.7	329	0	0	0	58.4	112	22.0	3.0	◎
		平均	6.19	8.25	9.28	80	19.9	340	0	0	0	55.2	109	22.4	2.5	◎
農業技術センター	多肥	60	6.18	8.23	9.25	83	19.1	377	0	0	0	53.1	94	22.7	2.0	◎
		61	6.20	8.26	10.5	82	20.8	343	0	0	0	57.1	110	21.6	3.5	◎
		平均	6.19	8.25	9.30	83	20.0	360	0	0	0	55.1	102	22.2	2.8	◎
ヤマヒカリ	標準	60	6.18	8.21	9.22	81	17.2	340	0	0	0	48.8	100	23.2	2.0	◎
		61	6.20	8.26	9.30	84	18.6	294	0	0	0	52.1	100	22.1	4.0	-
		平均	6.19	8.24	9.27	83	17.9	317	0	0	0	50.5	100	22.7	3.0	◎
ヤマヒカリ	多肥	60	6.18	8.21	9.23	92	17.4	411	1.0	0	1.0	56.4	100	22.0	2.0	◎
		61	6.20	8.26	10.1	89	18.7	343	0	0	0	51.8	100	21.6	4.5	-
		平均	6.19	8.24	9.27	91	18.1	377	0.5	0	0.5	54.1	100	21.8	3.3	◎

- (4) 試験条件等
- (1) 基本調査 稚苗移植・施肥成分量 (g/㎡) { 農技センター-N-0.72+0.4, 伊賀センター-N-0.7+0.3 }
 - (2) 現地調査 " " { 伊賀センター-N-0.7+0.3 }
 - (3) 麦跡晩植 中苗移植 " " { 伊賀センター-N-0.7+0.3 }
 - (4) 病気の程度 0-無、1-軽、2-少、3-中、4-多、5-甚
品質 1-上/上、2-上/中、3-上/下、4-中/上、5-中/中
.....9段階

3. その他特記事項

奨励品種決定調査ならびに、地域低コスト稲作技術体系確立試験... (田補1/2)